

刊夕 日七廿月三



刊日
第一号 月刊五拾五元
第二号 月刊五拾五元
第三号 月刊五拾五元
第四号 月刊五拾五元
第五号 月刊五拾五元
第六号 月刊五拾五元
第七号 月刊五拾五元
第八号 月刊五拾五元
第九号 月刊五拾五元
第十号 月刊五拾五元
第十一号 月刊五拾五元
第十二号 月刊五拾五元
第十三号 月刊五拾五元
第十四号 月刊五拾五元
第十五号 月刊五拾五元
第十六号 月刊五拾五元
第十七号 月刊五拾五元
第十八号 月刊五拾五元
第十九号 月刊五拾五元
第二十号 月刊五拾五元
第二十一号 月刊五拾五元
第二十二号 月刊五拾五元
第二十三号 月刊五拾五元
第二十四号 月刊五拾五元
第二十五号 月刊五拾五元
第二十六号 月刊五拾五元
第二十七号 月刊五拾五元
第二十八号 月刊五拾五元
第二十九号 月刊五拾五元
第三十号 月刊五拾五元
第三十一号 月刊五拾五元
第三十二号 月刊五拾五元
第三十三号 月刊五拾五元
第三十四号 月刊五拾五元
第三十五号 月刊五拾五元
第三十六号 月刊五拾五元
第三十七号 月刊五拾五元
第三十八号 月刊五拾五元
第三十九号 月刊五拾五元
第四十号 月刊五拾五元
第四十一号 月刊五拾五元
第四十二号 月刊五拾五元
第四十三号 月刊五拾五元
第四十四号 月刊五拾五元
第四十五号 月刊五拾五元
第四十六号 月刊五拾五元
第四十七号 月刊五拾五元
第四十八号 月刊五拾五元
第四十九号 月刊五拾五元
第五十号 月刊五拾五元
第五十一号 月刊五拾五元
第五十二号 月刊五拾五元
第五十三号 月刊五拾五元
第五十四号 月刊五拾五元
第五十五号 月刊五拾五元
第五十六号 月刊五拾五元
第五十七号 月刊五拾五元
第五十八号 月刊五拾五元
第五十九号 月刊五拾五元
第六十号 月刊五拾五元
第六十一号 月刊五拾五元
第六十二号 月刊五拾五元
第六十三号 月刊五拾五元
第六十四号 月刊五拾五元
第六十五号 月刊五拾五元
第六十六号 月刊五拾五元
第六十七号 月刊五拾五元
第六十八号 月刊五拾五元
第六十九号 月刊五拾五元
第七十号 月刊五拾五元
第七十一号 月刊五拾五元
第七十二号 月刊五拾五元
第七十三号 月刊五拾五元
第七十四号 月刊五拾五元
第七十五号 月刊五拾五元
第七十六号 月刊五拾五元
第七十七号 月刊五拾五元
第七十八号 月刊五拾五元
第七十九号 月刊五拾五元
第八十号 月刊五拾五元
第八十一号 月刊五拾五元
第八十二号 月刊五拾五元
第八十三号 月刊五拾五元
第八十四号 月刊五拾五元
第八十五号 月刊五拾五元
第八十六号 月刊五拾五元
第八十七号 月刊五拾五元
第八十八号 月刊五拾五元
第八十九号 月刊五拾五元
第九十号 月刊五拾五元
第九十一号 月刊五拾五元
第九十二号 月刊五拾五元
第九十三号 月刊五拾五元
第九十四号 月刊五拾五元
第九十五号 月刊五拾五元
第九十六号 月刊五拾五元
第九十七号 月刊五拾五元
第九十八号 月刊五拾五元
第九十九号 月刊五拾五元
第一百号 月刊五拾五元

追善法要の由來と心得 (六)

眞 繼 雲 山

そこで初七日の間に未來の生縁が定まらねば七日目に一旦死して又その次の中有の身を受けます

二七日の間に定まらねば又死して三七日の身を受けるといふやうに七日目毎に死しては又その次の身を受け

るのであります。それゆゑ七日目毎に遺族が追福供養を營んでくれますと亡者はその勝縁によつて人天、乃至極樂に轉生することが出来るのですから、中陰四十九日の間の法要は分けても肝要だとされてゐるのであります。

【問】若し四十九日目に及んでも罪福が定まらないときは何ういふことになりますか。

【答】その時は百ヶ日、一周忌、三周忌までの間に審判を受ける三周忌目には何れにか赴くべき生處が必ず決定すると十王經には説かれてゐます。この七々日追福の功德につき釋氏要覽には瑜伽論を引いて『世の七日々々に齊福を修するが如きは、是れ中有の身、死生の際に善を以つて追助して、惡に生せざらしむるものな

り』と申してあります。

【問】四十九日目に、四十九個の餅を搗いて新佛の靈前に供へ、又はその菩提寺へ納めるのは何ういふ意味でありますか。

【答】これは本朝古來の風俗であつて、支那や印度には無いこととあります。福田纂要と申す書物によりますと、人間の四十八骨と五輪五體とを表したものだといふこととあります。五輪とは地水火風空のこと、五體とは兩手兩足と頭のこととあります。即ち四十九日目は亡者が中有より他界へ轉生するときでありますから、この餅を供へて四十八の大骨が丈夫になるやうに補ひ資くる意味であり餘の一つの大餅は五輪五體の總體に當つたものであるといはれます。

【問】四十九日目はまた三周忌を縁として亡者が幸ひに善處に轉生したとすれば、最早やそれ以後の年回法要は無用の沙汰となる道理ではございませんか。

【答】いや、以ての外

の考へ違ひであります。凡そ一切有情たらんものは久

遠劫來の罪障によりて生々流轉生死輪廻の苦患を受け

るものでありまして極樂には參りやすきやうにて、實

は然らず、こゝを以つて易

往無人、千中無一などとの

言葉もあるくらひでありま

す然るに遺族の追善供養の

功德によりて惡趣にあるも

のはその苦を脱し人界にあ

るものは天上に生れ、天趣

生れ、既に淨土に到れるも

のは、その追善を見て心に

怡悦を生ずるのであります

上善の人は、如何ほど善を

見るとも飽かなしことは、

『食は精を厭はず、膾は細

きを厭はざる』の理がある

のであります。殊に況んや

神通力なき凡俗の身として

はその祖先の誰、彼れが何

處の界に迷ひをることや

ら、絶えて知る術もないの

でありますから、遺族たら

んものは祖先のため我が身

のため延いては我が家の子

孫のために、三周忌、七周

忌はおろかなこと、五十年

百年に亘り、身のつゞかん

限り追福孝養を怠るべきで

はありませぬ。

一愛讀者へお答へ、お問

合せの眞經雲山先生の御

住所は『東京市神田區今

川小路二丁目二番地』で

◆ 景品付大賣出し

来る四月二十五日迄……
八圓以上御買上の方に置時計一ヶ進呈
致します、是非御買上の程御願ひ致し
ます。

平町停車場通り
星野時計店

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

平町田町 電話五二三番

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

▽御融通には！
是非御利用を……
萬事便利な御相談に應じます。

三井質店

平四・電六〇六番

店員募集

△ 小 店 員 五 名
A 十三才より十五才迄尋常科卒業生三名
B 十四才より十七才迄高等科卒業生二名

△ 店 員 參 名
十六才か十九才迄商業、中等學校卒業生
○ 優待制度の外特別賞與を支給す。
○ 御希望者は御面談（履歷書を要す）
○ 御面談は一週間前に御通知を乞ふ。

化粧品問屋 大黒屋勝次商店
御部 平町三丁目（本通り）
小賣部 三丁目角（常磐銀行前）
電話長一六六番

喜多流謠曲と仕舞の
お稽古をお勧め致します

平田町六九
喜多流 謠曲 仕舞 白土會
電話一二七番

◇ 詳細は本會へ御問合せ下さい。

江戸前料理 合巻

鳥金ぶら 大和漬
は軽くしてうま味もよく滋養に富む
ぜひ一度御試食下さい

出前 迅速 錦水
電話四五四番

評判で香りのよい
電熱ほうじ茶發賣

一號 一斤六〇 四半斤一五
二號 一斤四〇 四半斤一〇

童 謠

大黒はしらは家の王
お勝手道具は世帯王
大勝園で買った茶は
茶の間の王よ客間王
父様母様おすきの茶
客のほめる茶 喜ぶ茶

平 三

大勝園
電三九六番

花に魁して

忠魂祭の式典

参拜者一萬名を豫想

石城尚武會では例年の如く來月十日午前十時から忠魂祭を舉行するが今年には松ヶ岡公園の櫻も例年より早くと噂されてゐるから十日頃は東面南面の櫻は二、三分通り綻びるものと豫想され参拜者一萬名を豫想し松ヶ岡は空前の盛況を呈するものと見られて居る因に式次第左記の如くである

- 一、午前十時式場参列
- 二、石城郡支會長開式の旨を告ぐ
- 三、祭式、神祭式、佛祭式
- 四、支會長祭文
- 五、在郷軍人聯合軍人分會長祭文
- 六、來賓祭文第二師團長 福島縣知事歩兵第二十九聯隊長
- 七、司會者拜禮
- 八、來賓拜禮
- 九、遺族傷兵一同拜禮
- 十、在郷軍人一同拜禮
- 十一、老兵會員一同拜禮
- 十二、赤十字社員一同拜禮

公園の賣店

申込多ツタ一軒

天候不順に懲りたか?

募集期間を延期

平町では既報の如く花見時の公園内臨時賣店を募集してゐるが締切日の本日午前中までに僅か左記二件が申込んだのみなので

應募殺到 するものと折角意氣込んでゐた係員も些か拍子抜けの態であるがこれは例年の天候不順と不況のため採算がとれぬにこりて尻込みしてゐるため

△紺屋町荒川食料品店
△田町金子食料品店

堆肥週間

懇切に指導

石城郡農會では農村更生の

恐怖と苦闘に

學界の小選士

恩愛の聲も

今は耳に聴えず

血走るその眼

試験地獄を覗く

今春小學校卒業といふ喜びを荷つた可憐な児童達の頭上に覆い被さる試験地獄は

年々絶えない、否年一年と深まりゆくのだ、警中、警女、平商、石城地方に嚴然

禮 十三、愛國婦人會員一同拜禮

十四、一般参列者一同拜禮

十五、學校職員生徒兒童拜禮

十六、遺族傷兵へ神酒及供物を頒つ

十七、石城軍人聯合分會長閉式の旨を告ぐ

御降誕紀念とし

就學獎勵金交付

文部省では皇太子殿下御降誕紀念事業として本郡下貧困兒童の就學獎勵金合計千三百十九圓五十四圓を左の如く割當交付すべき旨發表した

渡邊四五八六 山田一九九三 錦六七九六 上遠野一一五九〇 入遠野六二八

二〇二 川部一八七六 田人九五九二 平一五一〇 飯野八四七六 小名濟一五八〇 玉川六一九五 磐崎一〇八三五 好間二四七八〇 永戸七五六四 箕輪三一五二 西倉四三三四 川前六二二八

郡下組合の先鞭

田人信用二十週年祝賀

田人村信用購買組合は大正四年郡下のトップを切つて創立されその後組合幹部諸氏の不斷の努力によつて年々業績頗るよく益々向上の

一步校内に踏み入れ

ばそこには優劣を争ふ相手が黒山の如く集つてゐる各學校毎に群をなす児童達に付添の先生の最後の注意を細々とさかされる、が、それすらも彼等の耳には聴えないらしい、

數分後に、迫る試験を描いてその小さな眼は血走つてゐるのだ、八時三十分試験開始の振鈴は鳴り響いてゐる。

通學服と防水マント賣出し

- | | | | | | | | | | |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 可愛らし御 | らん富に | らん富に | らん富に | らん富に | らん富に | らん富に | らん富に | らん富に | らん富に |
| お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 |
| お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 |
| お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 |
| お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 |
| お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 |
| お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 |
| お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 |
| お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 |
| お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 | お嬢様用 |

おみやげ洋装店

して盛大なる祝賀會を開くことになつた

電話次第

店員参上

旭屋一六銀行

平三丁目旭屋一六銀行では四二五番の電話次第店員参上直ぐ様取運びをすと

美味好評

錦水獨特の

大和漬其他

田町江戶前料食堂錦水では此親鳥の金ぶら胡瓜の大和漬等同食卓獨特の料理を始めたが軽くて美味な上に滋養に富んでゐるのでお客様より大好評

吉田眼科病院

眼科専門 院長 吉田 安雄

平紺屋町電話六八八番

醫學士 吉田 久雄

平署管内の

消防幹部大會

第三校に開く

平署管内二十二消防組の幹部大會は四月八日午後八時半から平第三小學校で開かれるが先づ規律訓練を行つて午前十時から同校講堂に會議を開き春季聯合檢閲その他に關し協議するが出席者二百名に達する見込みである

平農事講話

講師が決定

平町農會では二毛作の管理苗代蔬菜その他に就て農事

苗代の……

作り方講演

神谷村農事試驗場では二十九日午後一時から農事講演會を開くが講師は郡山本場の技術師で苗代の作り方と管理に就ての講演である

納税美談を

集録配附す

平稅務署の獎勵策

平稅務署では納稅獎勵の一方法として管内各町村に於ける納稅美談を集録してパンフレットに作成これを一般に頒布して大いに納稅思想の普及に努めんとす

物見ヶ岡稻荷を

平機關庫に分靈

庫員一同の寄進で

來月一日盛大な鎮座祭

平機關庫では事故防止の祈願と敬神思想涵養のため今日同庫主任室東側に物見ヶ岡稻荷神社の御分靈をうつして三尺四方石造りの小祠を建て庫員一同から鳥居神橋燈籠を寄進したが全部の

教育會の講演

教育會では明日二十八日午前十時より第一小學校講堂に於いて總會の講義を聞き午後一時より鈴木秀應氏の講演がある

於いて總會の講義を聞き午後一時より鈴木秀應氏の講演がある

農試の練習生

村農事試驗場では二十九日正午から同場に於て八年度分場農事練習生の修得證授與式を行ふが修得生は久米時徳君外九名である

參謀本部の將校

湯本附近で演習

參謀本部付陸軍少將山田乙三氏は二十五日參謀本部付將校二十二名を引率して將校演習の爲來郡湯本町に於て演習を行つた上山形屋松柏館に分宿二十六日會津方面に向つた

德永博士一行

目下來郡實地踏査中

濱通り地方の地質學實地踏査のため來郡中の理工學博士德永教授は帝人生十四名を引率して二十五日磐崎村藤原炭礦を見學した上湯本町役場に於て湯の湧出に關する講演を試みた

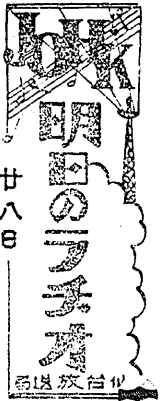
穴熊捕獲

罰金廿圓に

田人村大字南大平字坪内三九小野正三(三)が去月中無免許でトロッコと稱する鼠を使用して穴熊一頭を捕獲せる狩獵違反事件は昨日平區裁判所に於て略式で罰金廿圓に處する

裁判所より

△湯本町榎木町一七〇賣藥



明日の天気

今晩も明日も北西の風晴曇半す

今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
漫畫物語 火の番小屋
前演漫畫劇場
後六、三〇 三都對局新進
勝拔將棋八手合

後七、三〇 全國選抜中等學校野球大會選手 茶話會
會況中央公會堂より中繼
後八、〇〇 詩の朗讀「三本露風詩集より」萩野綾子

後八、三〇 管絃樂 日本放送交響樂團
後九、〇〇 長唄 雛鶴三番唄 松永和風外大勢
後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組預告
明日の部
前九、〇〇 料理献立 中會根うつつ
前九、四〇 第十一回全國選抜中等學校野球大會入場式並試合實況甲子園より中繼

五回に白米其他と窃取し尙本月十六日同字農原中益己方の土藏を窃盜の目的で鐵棒を以つて破壊し未遂に終

情婦が變心したと

早合點の及傷事件

豫審終結して公判へ

既報茨城縣那珂郡湊町字明神町五五一〇生れ當時住所不定白田光雄(一)に係はる殺人未遂傷害被告事件は過般來

誤解し嫉妬の餘り室内に有つた
肉切庖丁を以つてカネに切付け同人の前頸部に全治一ヶ月を要する重傷を負はし向これを押しめんとした同家女給松原ヘナにも全治三週間の傷を負はしたのであると

平職業紹介所報告

求人を求める方
△鐵工業 十五才位 尋卒 給料面談
△商店雜役 二十歳前後 高卒 月十圓位
△商店雜役 二十才位 尋卒 日給七十錢位
△看護婦見習 二十才 仕着 小遣 高卒
△機械工 三十才 高工卒 回職を求める方

前一〇、三〇 家庭メモ
前一〇、三五 家庭講座
後二〇、〇五 滿洲より
後二〇、〇〇 家庭大學講座
「植物の常識」(九)久内清孝
後六、〇〇 子供の時間
お話アイヌの熊補り 矢川恵三郎
後六、三〇 三都對局新進
勝拔將棋六手合
後七、三〇 講演
後八、〇〇 未定

△事務員 十八才 磐女卒
△商店雜役 二十九才 尋卒
△事務員 十九才 高卒

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町
電一七〇番



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 齣

第百九十回 徳川家に崇る村正

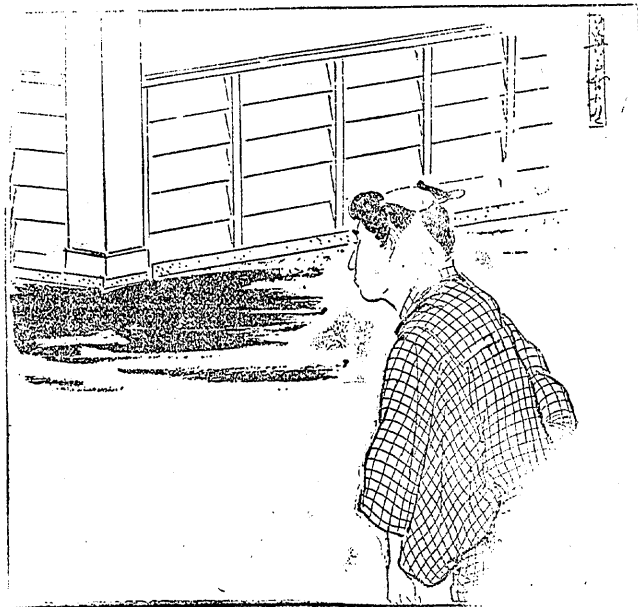
久し振りの對面

中根源太郎が由松に向つて

源「お前は何か、父親がその後如何してゐるのか知らんのだな」
由「左様でございます、仇討ちをするまで通りをしない、約束でございましたので」

源「それはよくない母親の仇を討たうといふのは立派な孝心だが、生きてゐる親に五年も六年も通りをしないといふのは大の不孝だ、親ある時は遠く遊ばずといふことがある、最早年も老つてゐるし、病身とあらば尙更だ、現在如何なつてゐるか分らん、早速元の家の界限へ行つて探してごらんなさい、相變らず其處にあるか他へ移つたか分らんが探したら知れんこともあるまいから」
由「成程そうでございます、では早速今日お暇を頂いて探します」
源「そうしなさい、これは當座の小遣だ」
由「そういふものを頂いては申譯もございません」
源「遠慮をするな、若し其處に居なければ探すの相

當金が掛るだらう、持つて行きなさい」
由「有難うございます」
由松は小日向の中根の屋敷を出て久し振りに芝新網の元の家へ来て見ると、大分近所の様子も變つてゐて自分の家がない、由松急に



家「由松なんて人は知らねえが、何處の由松だ」
由「エ、お長屋に厄介になつておりました下駄屋の伴の由松でございます」
家「オウオウあの見掛倒しのよし松か」
由「何でございます、見掛け倒しといふのは」
家「マア、宜いや此方へ上れ、大層立派になつたな併し貴様は不孝者だぞ」
由「ヘエ」
家「ヘエちやねえ、親孝行者で評判だつたが、それが突然に家をとび出してしまつて、病上りの父親一人を置きつぱなしにして何處へ

心配になつて家主の處へ来て見ると、大家さん相變らず達者で、大きな眼鏡をかけて小本か何か讀んでゐる家「誰だい」
由「御無沙汰を致しました由松でございます」

今迄行つてゐたんだ孝行の様で大の不孝者だから、それで見掛け倒しだといふのだ」
由「ヘエ恐れ入りました、これには種々と仔細のあることで」
家「父親もんなことを言

つてゐたが、とび出すなら飛出すで一寸俺の所位挨拶に来てくれないか」
由「ナア大家と言へば親も同様、店子と言へば子も同様、といふ位のものだ、殊に貴様は孝行者と思ふから随分面倒も見てやつたつもりだ」
由「もうそう仰言られては何とも申譯もございませんが、時に親父は何處へ移りましたか」
家「ぢや何か、親父の事も知らねえか」
由「ハイ親父がどうか致しましたか」
家「どうしたもこうしたも一タ一朝では話しも出来んが、まあ心配するな親父は無事だから」

それからズツとそのお宅でお前の親父は厄介になつてゐるのだ」
由「それはどうも有難いことでございますが何方の旦那様で」
家「今この界限の地主さんになつて居られる方だが、信州の方から空手で出て來なすつて、僅かの間に大層な身上になすつた信濃屋新藏といふ方だ、これから行くカナニ近、所だ、濱松町二丁目角店で雜貨商、大層なものだ」
家主から教つて來た濱松町の信濃屋、裏口へ廻つて障子をガラ／＼と開けて
由「ヘ、ご免下さいまし」
女中が出て來て

由「有難う存じます、それを伺ひまして大きに安心致しました、實は仔細がございまして親父とも相談の上の五年ばかり家を留守に致しました、もう直き父さんと一緒に居ることが出来ようと思ひまして」
家「そうか、まあ仔細があるといふなら仕方がないがあれから親父はな、お前が居なくなつて一人で餘り無理をしたものだから又大煩らひをした、長屋の者も随分面倒を見てやつた」
由「何とも皆さんに申譯もない次第で」
家「處が此處に情深い方が出來てな、看病が届かなければ助かるものも助かないからと、お宅へ引取つて良い醫者にお掛け下さつたそのお蔭で病氣も治つたが

女「おやどちから」
由「エ、こちらに惣兵衛といふ者が厄介になつて居りませうか」
そ、聲を聞き付けたと見えて惣兵衛が
惣「ハイどなただね」
出て來て見ると片時も忘れない伴の由松だから惣「ヤア由松か」
といふといきなり抱き付いた。

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
電六三〇番
申込次第規則書(呈)

旭屋一六銀行
御利用を盛んに御取扱中
四百二十五番の電話次第
御便宜直様御取進び致します

美しき花の種子
西村屋藥局種子部
平 2 電 3
毎度御好評をいただき居ます
横濱植木會社の輸出向特撰種子
です「草花種子の蒔き方」差上
ます

松ヶ岡公園櫻花廣告燈規定
一、櫻花廣告燈は満開の時期を見斗ひ約十日間点火するものとす。
二、櫻花廣告燈は左の二種に定め申込氏名、屋號、商品名等を記載点火するものとす。
三、當組は特に左記破格料金にて奉仕致します。
(イ) 岐阜形提灯壹燈ニ付 金壹圓九十錢
(ロ) 六角燈雪洞壹燈ニ付 金貳圓貳十錢
四、廣告圖案等は主催者に御一任を願ひます。
五、不可抗力の爲め破損せる場合は止を得ざるものとす。
六、申込べ切は四月五日迄とす。
主催 平消防組
後援 平町役場
中村齒科醫院
平町 鍛冶町七